特定非営利活動法人

ほしのくま

発行：ＮＰＯ法人 星のくま
住所：雲仙市愛野町乙2336−1
TEL：0957−36−7575
FAX：0957−36−7576
URL：hoshinokuma.com
発行責任者：磯田 正也

ほのぼのと　しあわせになろう
のんびりと　くじけるな　まけるな！





「サービスの品質向上を目指して」
～ＱＣ活動の定着～

平成三十年度がスタートし、各種研修会等に参加する中で、今後の障がい福祉分野において強く感じていることがあります。

まず、厚生労働省の行政説明の中で障がい福祉分野において、サービス利用者数の増加に伴い、公費負担の総費用額・伸び率が増加しているとあります。障がい福祉も医療保険、介護保険と比較され、今後医療保険や介護保険と同様に、いくらかの利用者負担が発生する、もしくは各種加算等の廃止で、利用者負担に代わる事業者負担が「ある」と考えられ、今後その点も含め、事業経営に取り組まなければと痛感しています。

次に、「サービスの質の評価」を強く話されます。当法人でも昨年度より「ＱＣ活動」を取り入れ、サービスの品質向上を目指しております。職員のＱＣ活動に取り組む意識も徐々に向上してきており、今年度については「ヒヤリ・ハット」をテーマに取り上げています。「ハインリッヒの法則」に基づく考えで、一つの重大事故の背後には二十九の軽微な事故があり、その背景には三百もの異常が存在するとされています。本来ならば「異常が存在する状態＝ヒヤリ・ハット」と捉えなければいけませんが、現在、各事業所より報告される「ヒヤリ・ハット」は軽微な事故に対するものがほとんどであります。今年度のＱＣ活動を通して、今一度、「ヒヤリ・ハット」の考えを意識づけ、軽微な事故、重大な事故を起こさぬよう、普段から小さな事柄に気づける職員育成を行い、利用者様に満足してもらえるサービスの提供へ繋げていきたいと思っております。

七月上旬の台風七号接近から西日本豪雨災害、連日の猛暑日と今迄にない異常気象が続いております。皆様も健康、体調管理には充分にお気をつけになって、暑い「夏」を乗り切って頂ければと思います。

特定非営利活動法人　星のくま
理事長　磯田　正也

ワークセンターあいの

施設外就労に行かせて頂くことになりました！

この夏より、雲仙市吾妻町にあります「株式会社 長﨑清水」様で施設外就労を行わせて頂くことになりました。

「株式会社 長﨑清水」様は、新鮮な魚や旬の野菜を使用してかまぼこを生産されている企業になります。現在は、施設外就労をさせて頂いている吾妻町に本社工場と店舗、また諫早市にも販売店を構えられており、全国へも商品を発送されるなどとても活躍されています。

今回、そのような企業さまで実際に仕事を行えることは、一般就労を目指す利用者さまにとって、就職をより現実的に感じることができ、成長へつながることと思います。慣れるまでは大変な事もありますが、施設内では経験できないことがたくさんあり、良い刺激となっています。

一日も早く仕事をおぼえ、会社の役に立てるように頑張ります！

～作業内容～

- 真空製品の仕上げ作業
- かまぼこの包装作業
- 出荷用段ボールの組み立て作業　など





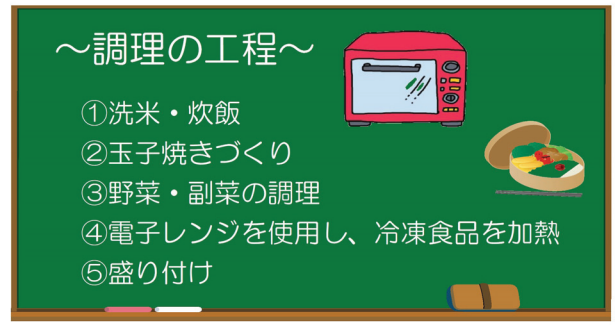


Let's チャレンジ！

～お弁当作り～



就労移行支援サービスを利用されている4名の利用者の方々が調理実習を行いました。働くためにはしっかりご飯を食べて健康でいることと考えます。そこで、第1回目の今回は簡単に調理できるようなメニューを取り入れたお弁当作りを行いました。また、将来一人暮らしをすることになっても自分の食事は自分で準備できるように、電子レンジを使用した冷凍食品も敢えて取り入れました。






簡単な電子レンジを使用するおかずに加え、ちょっとひと手間かかる玉子焼きも作りました。初めて作ったという方もいらっしゃいましたが、火加減や卵を流し込む量など注意しながら調理されていました。皆さん、上手く仕上がり、自信がついたようでした。盛り付けも彩りよく、美味しく見えるようにそれぞれ工夫されていました。

出来あがったお弁当は事業所の職員などにも試食してもらい、感想に「美味しかったよ」と言われ、良い経験になったようです。

今後も月に一度のペースで実施していきます。
献立の立案や買い出しにも挑戦し、ステップアップを目指します！

実習を終えて…

就労移行支援サービスを利用して頂いている橋内貴博さんがピープル千々石店様にて三週間の実習を行われました。

今回は自宅から公共バスを利用して実習先まで通うことも出来ました。

今後も今回の実習を活かし、就職に向けて頑張ってほしいと思います。

橋内さんの感想

ピープルさんの実習に行って、特に難しかったのは、魚のさばきで、包丁で切って内部の食べられない所を切ったりすることです。手を切ってしまわないか心配でした。肉の仕事は、色々な大きさや重さが違い、どの肉を選んで、グラム数を早く合わせることに頭を悩ませました。青果の仕事は、ニンジン、ナス、キュウリなど色々な野菜をビニール袋に入れて、テープで縛って、値段のシールを貼り、店内に品だしをしました。この仕事はできたと思いました。

今回実習を終えてワークセンターあいのの仕事より、ピープルさんの仕事が二倍三倍と大変であると感じました。

これからも頑張るぞ！



ワークセンターあいの（就労移行支援・就労継続支援B型）　TEL0957-27-5525　FAX0957-27-5526

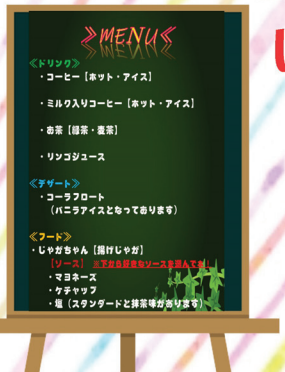
ケアステーションあいの

開店 星のくまカフェ

夏が近づいてきた六月下旬、お楽しみ会として自立生活チーム主催の「星のくまカフェ」が開店しました。
メニューには、愛野町名産のじゃがいもを使用したおやつやアイスクリームがのったコーラフロート、ちょっと大人びたアイスコーヒーなどほとんどが愛情の込められた手作りのものです。もちろんカフェの店員さんも自立生活チームの利用者さまで、少し緊張しながらも注文を取り、丁寧な接客をされていました。







いらっしゃいませ♪



ご注文いかがいたしましょう?

自立生活チーム活動

高等部卒業生を主体とし、将来自立した社会生活を送る為の活動をしています。自立生活チームでは洗濯物の干し方や畳み方の日常生活に必要な支援や次の日の配膳で使用する食事ボードの作成などを行っています。



菖蒲見学

今年も大村公園へ菖蒲見学に行ってきました。
当日は、雨が心配されていましたが、大村公園に到着すると空が味方したかのように雲の隙間から晴れ間がのぞき、綺麗な菖蒲を見る事ができました。
雨上がりのキラキラと輝いた菖蒲を堪能した後は、出店で買った梅ケ枝餅を頬張りながらひと休み。
本格的な梅雨に入る前にとても良い思い出がまた１つ増えました。



じゃがいも作業始めました。

生活介護の新たな作業活動として、じゃがいも袋詰め作業を開始しました。
始めた当初は、利用者の皆さま、職員共に慣れない作業で戸惑いがあったものの、作業をこなして行くうちに作業スピードもあがってきています。
これからも試行錯誤を重ねながら頑張っていきたいと思います。





キッズステーションあいの





「個性」をのばして

教育現場でも当たり前のように言われる「個性」という言葉。しかしこの「個性」とはどのような意味なのか。

『自己主張=個性』ではなく、『子どもの性格=個性』であるべきと思います。

子どもの得意・不得意な面を把握して、得意なことを伸ばしていこう、大切にしていこうという部分に重点を置き、キッズステーションあいのでは、社会資源を利用し「楽しみ」を感じながら、活動をしていきたいと思います。

どのような手段でその「個性」を伸ばせるかは、一人一人異なる為、子どもに寄り添いながら、個々に合った支援を行っていきます。









夏休みの予定

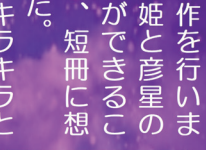
- 低学年：劇団飛行船
  「そんごくうの大冒険！」
- 高学年：長崎県美術館
  「魔法の美術館リミックス」
- そうめん流し
- 水遊び＆プール
- お楽しみ外食
- 夏休み創作活動
- 調理学習(おやつ作り等)

～星に願いを～七夕

キッズステーションあいのでは、七月七日の七夕に向けて、七夕製作を行いました。折り紙を折ったり、織姫と彦星の顔を描いたり、ひとりひとりができることを活かしながら飾りを作り、短冊に想いを込めて願い事を書きました。

製作をしている子ども達はキラキラと目を輝かせながら集中して取り組んでいました。出来上がった飾りと短冊を笹に飾ると「わぁ！」という嬉しそうな子どもたちの声と笑顔が溢れました。





七夕おやつ作り！





今回は、七夕らしく「カラフルフルーツポンチ」を作りました！！













願い事が叶いますように！

アクティビティセンターあいの

行ってきました！ 工場見学

アクティビティセンターあいのでは、子ども達自らが体験し、学んでいくことに重点を置き、活動を行っています。

今回、はじめての工場見学を『小浜食糧株式会社』様にて行いました。小浜町にある工場までは公共交通機関を利用し、子ども達自らが乗下車場所や出着時刻を調べ、工場見学の目的を達成しました。

今後も目的を達成するための過程を大切にしながらたくさんの経験を積んでいけたらと思います。

出発！



今回は、バスを利用して、愛野町から工場がある小浜町まで行きました。





バスを利用するにあたって、事前に利用方法やマナーを学習しました。

到着！





お菓子が完成するまでに沢山の人の手が加わり、その人たちの想いが一枚一枚に込められていることを学ぶことができました。











最後には、美味しいクルスを頂きました。小浜食糧株式会社さまありがとうございました。

職員紹介

子ども達と共に成長していけるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



酒井　直子



岩本　美智子

夏休みの予定

- 長崎映画鑑賞
- 調理実習
  （昼食作り・おやつ作り）
- プール
- お楽しみ外食
- 夏休み創作活動
- 星のくまミニ夏祭り

ものづくり ～お野菜・梅干し＆梅シロップ～

ものづくり第一弾として「梅干し&梅シロップ」作りを行いました。

どのように作れば美味しいものになるのかなど、ちょっとした豆知識を人生の先輩達に教えていただきながら取り組んでいます。

また、夏休みの調理実習では、自分たちで作った野菜を使用したメニューを考えており、それに向けて「旬の野菜」作りを開始しました。畑仕事など慣れない作業に苦戦しながらも収穫を楽しみに一生懸命頑張っています。









グループホーム星のくま1号館

季節を、自然を満喫して… ホーム外出

入居者の皆さんのリクエストで、島原市へそうめん流しに行ってきました。
園庭のようなオープンテラスに、広い池を囲むように並んだ丸いそうめん流しのテーブル。自然の中で味わうそうめんは格別で、夏の訪れを楽しみました。





男性グループ



男性のホーム活動では雲仙のやまぼうしの花を見に行ってきました。
一面緑の森の中に真っ白のやまぼうしの花が大変上品で少し歩きながら樹木の香気を浴び、精神的な安らぎと爽快な気分を得ることができました。

女性グループ



女性のホーム活動では大村公園まで菖蒲見学に行ってきました。
あいにく雨ではありましたが、一時雨が上がった時の菖蒲についた雫が美しく、つい顔を近づけて見とれてしまうほどでした。
心和むゆったりとした外出となりました。

地元をキレイにし隊！ ～クリーンウォーク～





月に二回、クリーンウォークとして地域の清掃を行っています。地域をより美しく、そして気持ちよく暮らせることを目的として活動しています。
最近は、地域の方々からもすれ違う際に声をかけて頂き、笑顔で挨拶をすることができています。
地元の一員として全員が積極的に取り組み、地域との交流の場となっています。

十九歳のお誕生日 おめでとうございます



下村聖蘭さん

3月から新メンバーとなった聖蘭さんが、6月に入所して初めての誕生日を迎えられました。10代最後となるこの１年を大切に、またグループホームの一員として楽しく元気に過ごしてください。

～スクワットで体力づくり～



こりゃあ、ダイエットにもよか～



6月より足腰を鍛えるために、夕食後はみんなでスクワットを行っています。
これからの暑い夏に負けない体づくりをしていきます。

今年もたくましく 咲きました。



平成二十六年にグループホーム星のくま1号館が開所した際に頂いたあじさいの花が、今年も玄関前で満開に咲いてくれました。

HOSHINOKUMA バーベキュー大会







毎年夏前恒例の星のくまバーベキュー大会を開催しました。

昨年度は土砂降りとなりましたが、今年度はバーベキュー日和の晴れ晴れとした天気の中開催することができました。当法人も6年目を迎え、総勢90名での大賑わいでの会となり、皆さん美味しいお肉や旬の食材をお腹いっぱい食べたり、思い出話に花を咲かせたりと、とても楽しまれていました。

合同行事は、事業所間での交流の場であり、利用者様同士が絆を深められる時間でもあります。また来年も盛大に開催できればと思います。







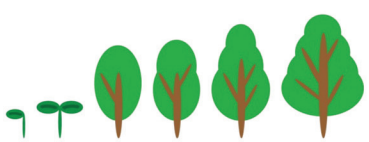












五周年を迎えて
～星のくま誕生～

ほのぼのと　しあわせになろう　のんびりと
くじけるな　まけるな…

障がいと向き合う皆さんへのエールのような基本理念のもと、平成二十五年一月二十二日、特定非営利活動法人星のくまを設立、四月一日より「ワーク&ケアセンターあいの」が雲仙市愛野町でスタートしました。生活介護と就労継続支援B型の多機能事業所でしたが、開所当時の利用者様は二名、スタッフは理事長以下、五名でミニバン一台に乗れる程でした。どうすれば地域の方に「星のくま」を知っていただけるのか、サービスを利用していただけるのか見当がつかず、全くの手探り状態でした。時を同じくして、障害者総合支援法施行、相談支援事業が動き出したことでサービスの仕組みが大きく変わり、スタートしたばかりの当事業所をまるで後押ししてくれるかのようでした。

同年七月、放課後等デイサービスをスタート。しばらくは利用児童0人という日が珍しくはありませんでしたが、そのような中、当時諫早特別支援学校中等部に通う、G君を紹介されました。進行性の難病だった彼は特注の電動車いすに乗り、多くの事に介助が必要でした。開所当時のスタッフは知的障害施設の経験はあったものの、身体障がいの方への介護技術や知識は乏しく、彼の存在が職員の自己研鑽力を高め、リフト車を導入する等、バリアフリーの環境づくりに努めるきっかけになったと言っても過言ではありません。

平成二十六年五月、愛野町八幡自治会にグループホーム「星のくま1号館」を開所。短期入所を併設し、十名まで利用できるようにしました。これまでの経験をもとに家庭的で且つ完全バリアフリーの環境を目指し開所したところ、雲仙市のみならず諫早市や長崎市の相談支援事業所を介して見学や相談が多く寄せられ、瞬く間に満床となりました。更にサービスの質を高めたいと願い、平成二十七年八月、ワーク&ケアセンターあいのの隣地に建物を新築。生活介護事業と放課後等デイサービスを移し、就労系事業と介護系事業を分離、「ワークセンターあいの（就労移行支援・就労継続支援B型）」「ケアステーションあいの（生活介護）・キッズステーションあいの（放課後等デイサービス）」として再スタートを切ることとなりした。幸いにも多くの方々に支えられ、「ほしくまさん」の愛称で親しまれるまでに成長することができました。僅か二名の利用者様からスタートし、順風満帆かのように思えましたが、ここからが現実の厳しさを痛感することとなります。そのひとつが「人材育成」という大きな壁でした。

次号につづく



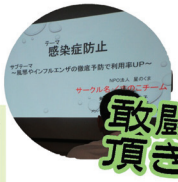
～病院QC発表会～



福祉QC勉強会の講師をしてくださっている西田良生先生とのご縁で、7月14日（土）に久留米市にあります「久留米市聖ルチア病院」で行われました病院QC発表会に参加させて頂きました。

昨年度より、主に放課後等デイサービス事業の職員で構成されるくまのこチームで取り組んできた「感染症防止～風邪やインフルエンザの徹底予防で利用率UP～」について発表しました。事業所内外の研修先などで数回発表させて頂いたことはありましたが、QC発表会に参加をすることは初めてであり、50名～60名の方々を前にとても緊張しました。同じQC活動に取り組まれる方々から受ける質疑応答や講評では、これまで気づけなかった点やアドバイスを頂け、とても勉強になりました。

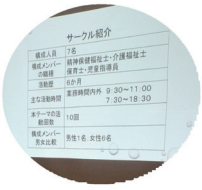
今後も利用者の皆さまにより良いサービスの提供ができるよう、この貴重な経験を活かしながら充実したQC活動になるよう励んでいきたいと思います。



敢闘賞を頂きました!!







今後の予定

8月14日（火）・15日（水）休業日
8月24日（金）そうめん流し
（ケアステーションあいの・ワークセンターあいの）
※詳しい内容については後日お知らせ致します。

編集後記

梅雨があっという間に過ぎさり、いよいよ夏本番となりました。個人的には、汗っかきなので夏がとても苦手ですが、子ども達にとってはとても楽しみな夏休みが始まります。暑さには、十分注意してたくさんの思い出を作ってほしいです。もちろん宿題も忘れずに。

今回の広報誌では、それぞれの事業の新たな活動や子ども達の七夕の様子などを掲載しています。是非ご覧ください。

星のくま　広報部

星のくまの”旬な話題”をお届け中!

星のくま ホームページ
http://hoshinokuma.com/



星のくま facebook
https://www.facebook.com/hoshinokuma.aino

facebook